

## 5. 研 修 部

研修部の今年度の仕事始め(?)は全国図書室研究会(全国研)の準備から始まりました。全国研(主催:日本病院会)に病図協が協力するのは今回で8回目になります。まず、第1回幹事会で開催地を「神戸」にすることが決まりましたので、さっそく4月上旬、春うららかな神戸の町へ、研修部員でもある社会保険神戸中央病院の林さんの案内で会場探しに行きました。足が棒になるくらいさまざまな施設を見てまわった結果、会場設備・立地条件などが総合してよかった県立神戸会館に決定しました。と、ここまでは序の口。これからが研修部の腕の見せどころと言えはかっこいいのですが、実際は苦勞の始まりといったほうがよいかもかもしれません。現在(7月23日)、日本病院会から全国研の案内状も届きやっと一段落、研修部一同ほっとしているところです。

さて、全国研については後日の研修会報告に譲るとして、定例研修会も全国研の規模を小さくしたもので研修部の仕事内容はさほど変わらないと思います。そこで研修部の活動を順を追って紹介しますと、まず、会の活動方針に沿って研修会の開催時期、会場、テーマなど年間スケジュールをたてます。それから第1回研修会の具体的な準備にとりかかるわけです。

すなわち①日時・場所・テーマ・プログラム・講師の決定 ②会場・講師の交渉 ③会場下見 ④会員・非会員宛に案内状を発送 ⑤参加者名簿などを作成、と進めていき、研修会当日は⑥会場設営 ⑦受付 ⑧講師接待 ⑨会の進行役などとなります。

研修部会議では以上のような研修会の立案・運営を行っています。会場には費用のかからない点では部員の病院の施設、集まりやすくお茶をいただきながら長く粘れる点でホテルの喫茶室を利

用することもあります。役割分担は会計係、案内状発送係の他、担当研修会を決めています。

今年度の研修会は次のとおり予定していますので多数ご参加下さい。

- 第1回(全国研究会) 9月3・4日  
名古屋研修会 10月 31日
- 第2回(定例研修会) 12月
- 第3回(事例報告会) 来年3月
- 初心者向け勉強会 6月18日(開催済み)
- 見学会「大阪大学生命科学図書館」11月頃

最後になりましたが、このような苦勞を共にしている研修部員を紹介します。

京都南病院の山室真知子さんは病院図書室のエキスパート。山室さんの会員への細やかな心遣いがあるからこそ、研修会に毎回多数ご参加いただけるものと思います。先にも名前が出ましたが、林伴子さんは生粋の神戸っ子。全国研では神戸の案内役としても活躍してもらえそうです。大阪府立母子保健総合医療センターの徳田雅子さんは出産のため昨年1年間のブランクを経て今年復帰されました。そのバイタリティーあふれる行動力は今後の研修部を担う星と期待されています。大平美里さんは名古屋第一赤十字病院の若きホープ。秋の名古屋研修会の中心的存在です。私、松本純子(住友病院)は研修会に長年携わってきて企画の難しさをつくづく感じている今日この頃です。

研修部へご意見、ご希望などがありましたら、何でも結構ですからお寄せ下さい。

(松本 純子)

